

Urban-Culture Research Center

UCRC 若手研究フォーラム

大阪公立大学文学研究科 × 生活科学研究科
オープンファカルティ 2023

2023

11/26

**あべのハルカス
25階会議室**

フォーラム A 10:00～12:00

日本中近世移行期に おける「戦争」の構造

兒玉良平 UCRC 研究員

西森駿汰 大阪公立大学大学院博士後期課程

石田将大 同正 坂本直紀 同正

フォーラム B 12:30～14:30

ポピュラー音楽と地域文化

地域社会に息づくスタンダード・ミュージックと人々の営み

柴台弘毅 UCRC 研究員 張佳能 UCRC 研究員

今井一彦 美濃加茂市の盆踊りサークル「舞童」前代表

UCRC 若手研究フォーラム

【フォーラム A 10:00～12:00】

日本中近世移行期における「戦争」の構造

本シンポジウムでは、中近世移行期日本列島の権力体による軍事動員システムを、各地域の特色も念頭に置きつつ検討することで、当該期日本の戦争の全体構造を明らかにすることを目指します。

【登壇者】 兒玉良平（UCRC 研究員／大阪市立大学大学院後期博士課程）、
西森駿汰（大阪公立大学大学院博士後期課程）、石田将大（同）、坂本直紀（同）

【プログラム】

はじめに（兒玉）

- 1、戦国期における民衆軍事動員：小田原北条氏を中心に（石田）
- 2、戦国大名による国衆（戦国領主）の動員について：西国の事例を視野にして（西森）
- 3、戦国期畿内近国の足輕の特徴（坂本）
- 4、戦国期の「海賊」「水軍」と戦争：九州・瀬戸内を中心に（兒玉）

おわりに・質疑応答など（全員）

【フォーラム B 12:30～14:30】

ポピュラー音楽と地域文化

地域社会に息づくスタンダード・ミュージックと人々の営み

岐阜県美濃加茂市における「ダンシング・ヒーロー」盆踊りを事例に、ポピュラー音楽がどのようなプロセスをたどり、地域を代表する文化として定着したのかを探ります。本シンポジウムでは、歌謡曲と地域文化についての報告、フィールドワークの成果報告に加え、同市の関係者をゲストに招き、来歴や現在直面している諸課題について話をうかがう予定です。

【登壇者】 柴台弘毅（UCRC 研究員、大阪音楽大学ほか非常勤講師）、
張 佳能（UCRC 研究員）、
今井一彦（美濃加茂市の盆踊りサークル「舞童」前代表）

【プログラム】

挨拶と趣旨説明（柴台）

- 1、「地方」から問い直す＜昭和歌謡史＞：「関西」という可能性（張）
 - 2、地域文化としての「ダンシング・ヒーロー」盆踊り（柴台）
 - 3、美濃加茂市における「ダンシング・ヒーロー」盆踊り（全員）
- 質疑応答など（全員）



JR大阪駅（大阪環状線）から約15分
大阪メトロ梅田駅から17分
JR・メトロ「天王寺駅」直結

主催：大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター

UCRC
Urban-Culture Research Center

Tel : 06-6605-3114

Mail : gr-lit-ucrc@omu.ac.jp

URL : <https://www.omu.ac.jp/lit/ucrc>